

令和4年度 第2回 みどりっ子育成協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和4年9月29日(木) 14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 新原小学校 パソコン室
- 3 出席委員 平松 昇、大橋 基文、平野 久和、平野 恵子、
鈴木 利明、嶋田 ゆかり、クリステンセン 勇美
- 4 欠席委員 田口 純奈
- 5 オブザーバー 梶 通安、(亀玉協働センター職員)、
- 6 学 校 木下 健(校長)、池野 由香里(教頭)、古宮 康子(教務主任)、
源馬 達也(生徒指導主任)、沖 竹宏(5年生学年主任)、足立 忠史(6
年生学年主任) 服部 美保(CSディレクター)
- 7 教育委員会 堀田 洋一(教育総務課)
- 8 傍聴人 なし
- 9 協議事項
 - (1) 議長選出
 - (2) 今年度の教育活動について(生徒指導、5・6年生学年主任)
 - (3) 2学期の学校の概要・行事について(古宮教務主任)
- 10 会議録作成者 服部 美保(CSディレクター)
- 11 会議記録

(1) 議長選出

司会の嶋田学校支援コーディネーターから、議長の選出について出席委員に意見を求めたところ、平松会長を議長に選任することについて、全員異議なく承認した。

(2) 今年度の教育活動について

議長の指示により、生徒指導主任の源馬教諭から、今年度の教育活動について説明があった。毎年、生徒指導委員会、いじめ対策委員会を実施し児童の状況を把握し日々の取組みに生かしている。生活アンケートは年3回実施している。アンケートで児童から出てきた訴えは担任の先生が事情を聞き取るようにしている。また、希望者には教育相談にてスクールカウンセラーの面談を実施している。

本校の児童の状況について。SNSやゲームの利用時間が静岡県平均と比べて長い。今年度もノーメディアデーを毎月設けて、家族とふれあう時間を増やすようにしたい。また、実施報告書は校長自ら全てに目を通し、コメントをする等して指導している。今年度は保健室への来室が多く見られる。また、感情のコントロールがつかず、カッとなり手を出してしまう子が一部いる。今年度は特に交通ルールを守り安全に学校生活を送れるように指導していきたい。

委員から以下の発言があった。

- ・交通事故対策について。浜松市も学区の交通安全対策を進めているようだが、路面標示やハンプ等効果的な対策がとれると良いと思う。(平野久和委員)
- ・学区内ではたくさんの防犯パトロールボランティアが子供を見守ってくれて、とても助かっている。スクールガードリーダーも月に2回見に来てくれて、先日通学路の安全確認をした。正門と横断歩道の間に、安全を啓発する路面張り標識の設置を市に申請した。(池野教頭)
- ・下校時に正門前に児童がたくさん集まることがわかったので、本村パトロールの人に正門前に立つようお願いしようと思う。(平松会長)

- ・学校敷地内なら市に申請することなく学校で対応できるのではないかと。(大橋委員)
- ・続いて、5年生学年主任の沖教諭から、今年度の教育活動について説明があった。5年生は上級生として学校のことを考えた行動をしようと常に伝えている。皆それぞれの学級目標に向かい日々学校生活を送っている。6月に行われた観音山の野外教室では、グループで協力して活動できた。7月の30分間回泳ではほとんどの子が合格できた。また、そこに至るまでの練習の努力が素晴らしかった。委員会活動では6年生と一緒に活動し、最近では先を見通す力がついてきたと感じる。3月には6年生に感謝する会を5年生だけで計画していく。これからは家庭科でのミシンの補助やクラブ活動のボランティアには引き続き御協力いただきたい。

続いて、6年生学年主任の足立教諭から、今年度の教育活動について説明があった。6年生68名が学年目標「明日へ進め」を掲げ日々頑張っている。この目標には色々なことに挑戦して欲しいという気持ちが込められている。学年の特徴として元気で明るい反面、学習の発表となると消極的になる傾向がある。2学期は行事が多く児童が大きく成長する時期でもある。いま各行事の実行委員を決めているところ。卒業まであと半年。地域の方々への感謝を忘れず過ごしていきたい。

(3) 2学期の学校の概要・行事について(古宮教務主任)

2学期の学校の概要・行事について古宮教務主任から説明があった。9月中旬に新型コロナウイルス感染症の影響で学級閉鎖を実施した。欠席者は減ってきているがまだ影響が続いている状態。これから先、広がらないと良いと切に思う。学校生活は色々なボランティアに助けられていると感じている。保護者だけでなく回覧板を見て地域の人が名乗り出てくれている。また、協議会委員が直接声掛けをしてボランティアに入ってくれた人もいる。2学期の学校行事について。

- ・10月 スポーツフェスティバル→新型コロナウイルス感染症を考慮し昨年並みの開催を予定。午前中のみで学年団ごとに保護者の入れ替えを行う。協議会委員以外の来賓は呼ばないで実施。
- ・11月 6年生修学旅行→行き先は東京か山梨方面をPTA理事会で検討する。
- ・12月 学習発表会→学年団ごとに保護者を入れ替えて実施する予定。

次に、4月に実施した全国学力・学習状況調査について、別紙資料にて説明があった。本校の特徴として、将来の夢や目標を持っている子が多く、前向きに活動に取り組んでいる様子が分かる。しかし、失敗に対して一歩踏み出せない子も多く、失敗してもいいから自分から進んでやってみようという積極的な気持ちが欲しいと思う。教科に関する結果は、各教科主任が分析して報告した。無回答率が高いのと、得点の分布が上位層と下位層に分かれているのが特徴である。生活習慣については、ゲーム使用時間が平日3時間以上という児童が40%を超えているのが心配なところである。この対策として、本年度から学習ノートに各自メディアの目標を書くようにした。学校だけでは解決しない問題なので、家庭と一体になりこれからは取り組んでいきたい。

委員から以下の発言があった。

- ・ゲームの使用時間と学力の関係は分析しているのか。(平野久和委員)
- ・他校の結果が分からないので比較することはできないが、担任の目から見るとゲームの使用時間と学力面が結びつくことがあるようだ。(古宮教務主任)
- ・先生から保護者にその投げかけはできるのか。(平野久和委員)
- ・懇談会の場で話を出したりしているがなかなか浸透していかないのが現状である。(古宮教務主任)
- ・文部科学省のクロス集計でゲームと睡眠時間、ゲームと勉強時間との関係を分析して

いて、問題の正答率との相関関係はあると発表している。ゲームの使用時間が少ない子の正答率が高い傾向にあるという結果は出ている。そのデータを示しても良いかなと思う。(木下校長)

- ・身近な問題として、文章にして表す力が弱いというのは読書習慣との関係があるのではないか。(平野久和委員)
- ・沢山の本を読んでいる子は語彙が増えて考える力も高まると言えると思う。読書委員会が示した目標冊数に達すると表彰するようにしている。冊数と学力が直結しているとは言えないが、本を読む子は書くことを苦にしないということはノートから見て取れる。(木下校長)
- ・学校用タブレットの活用状況を教えて欲しい。どうやって活用しているか。(平松会長)
- ・各教科の特性もあるので活用の仕方はそれぞれである。理科では観察物の写真を撮りレポートにしたり、体育では運動の様子を録画して振り返りをしたり、音楽では演奏を録音して聴き直したりしている。先日、音楽作りのソフトを使い曲作りしたら、音楽の苦手だった子がしっかり取り組むことができた。使用頻度も昨年よりも増えてきた。(古宮教務主任)
- ・タブレットの持ち帰りはしているのか。(平松会長)
- ・時々ドリルパークというものを宿題として活用している。それぞれの進度で進めるのが良いところで、これから活用を増やそうと思っている。(池野教頭)
- ・タブレットの持ち帰りとは家庭学習について。自宅にWi-Fiがあるという前提での持ち帰りとしている。宿題以外の目的で使用するインターネットに入れるから情報セキュリティの問題がある。3年生以上は総合学習の授業でインターネットを使い検索しているが、その様子を全て把握しきれないところがある。不必要なものは見ないことと、基本的に休み時間は使わないこととしている。操作に慣れている子はゲームやキャラクターのサイトに簡単に入れてしまうようだ。学校側でセキュリティをかけることができないため、持ち帰りの課題となっている。(木下校長)
- ・将来そのような仕事に就きたい子にとっては良いツールだと思う。各家庭でルールを決めてやっていくしかないと思う。(平松会長)
- ・調べ学習だけでなく、意見交換できるのが良いところ。今まで黒板に書いていたのが、タブレット上で瞬時に他の人の意見が画面で確認できる。タブレットの有効な使い方だと思う。
- ・短い文章なら問題ないが、長い文章だとノートにきちんと書くようにしないと本来の学力がつかないと思う。タブレットだけで授業をするのは望ましくない。タブレットの有効的な使い方を模索しているところ。家庭への持ち帰りも有効に活用したい。児童が勝手に使うことがないように、持ち帰りの際には必ずさくら連絡網で家庭に伝えるようにしている。(木下校長)
- ・タブレットの使用の仕方は先生によって違うのか。(クリステンセン委員)
- ・先生によって技量に違いがあるので多少はあるように思う。使わないと覚えないので先生達にはタブレットを使う機会を増やして欲しいと伝えている。(木下校長)
- ・学校用タブレットは時間制限等のセキュリティがあるのか。(平野久和委員)
- ・インターネットサイトに入る制限のセキュリティはあるが時間についての制限はない。(木下校長)
- ・1時間で自動的にシャットダウンする等学校のシステムでできた方が良いと思う。せめてスクリーンセーバーがあれば良いと思う。(平野久和委員)

その他

学校支援コーディネーターの嶋田委員から、コミスクだより9号の発行と読み聞かせボランティアの新規登録者が6名増えたとの報告があった。

また、浜松市教育委員会教育総務課堀田氏より、学校運営協議会委員の任期について説明があり、全員で規則を確認した。